

ちづ 智頭 議会 だより



町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会
第156号
発行：令和3年10月20日



三面窓が印象的な県立智頭農林高等学校正面玄関(昭和30年代)



現在

智頭の思い出シリーズ45

- ☆ 議会の新体制決まる …P2~
- ☆ 監査意見書 …P3~
- 9月定例会
- ☆ 令和2年度の決算を認定 …P4~
- ☆ 9人の議員が一般質問 …P8~
- ☆ 各常任委員会の報告 …P14~
- ☆ 町民の声(山郷地区) …P16

昭和13年9月に智頭地方の産業開発と人材育成のため開校した「智頭実業専修学校」を前身とし、23年の学制改革により「県立智頭農林高等学校」が発足しました。翌年の再編により「県立八頭高等学校農林部」と称することになりましたが、28年に分離独立し再び「智頭農林高等学校」となり今日に至っています。現在、生徒数減少により存続が懸念されており、それに向けた取り組みが求められています。

議会の新しい体制決まる

いよいよ

議長 谷口 雅人

議会改革の
推進を進める
副議長 河村 仁志

このたびの改選により議長を拝命いたしました。何卒宜しくお願いいたします。

先の選挙は四名の議員が勇退され、六名の新人候補者が新たに挑戦し全員が当選されました。

また、昨年執行された補欠選挙による二名の議員を合わせると八名の議員が二年未満という智頭町史に、例を見ない議員構成となりました。

昨年、議員報酬問題を機に議会への関心が高まった結果の一つではないかと考えます。

新人議員の中には、町民活動の代表を務められた方もおられ、今後の議会改革の議論に対しても幅広い意見が出るものと思えます。この二年間、町民の皆様のもとへ向き、考えられる全ての議会に関する事柄に議論を重ねていき、町民の皆様に信頼される智頭町議会を旨としてまいります。

7月の改選により副議長を拝命いたしました。立場の重さを感じながら町民皆様の奉仕者として更に努めていきます。宜しくお願い致します。



新体制で議長の補佐役として、町民皆様にご理解いただける議会運営、前期より手掛けています。議会改革を更に充実させ信頼される議会を旨とし、議員間の信頼関係を構築して、持続可能な町づくりにのために職責を全うするように努めてまいります。何卒よろしく申し上げます。



議員全員で力を合わせ、取り組みます！ どうぞ、宜しくお願いします！

議員紹介 (敬称略)

後列左から→河村仁志・大河原昭洋・安道泰治・波多恵理子・谷口翔馬

前列左から→田中賢・宮本行雄・藤田浩祐・谷口雅人・岡田光弘・西尾寿樹・仲井莖

委員会条例で任期は2年とされています。

新しい委員会構成

| 氏名 (議席番号順) | 年齢 | 当選回数 | 所属委員会 | | | | | 委員会が担当する内容 (令和3年9月30日現在) |
|---------------|----|------|-------|----|----------|----|----|-----------------------------------------------------------------|
| | | | 総務 | 民生 | 広報 広聴 | 議運 | 同和 | |
| 仲井 莖 | 51 | 1 | 副 | | ◇ | | ○ | ■総務常任委員会 総務課、企画課、税務住民課、教育委員会、会計課、水道事業に属すること及び他の常任委員会に属さないこと。 |
| 西尾 寿樹 | 60 | 1 | ○ | | 正◇ | | ○ | |
| 岡田 光弘 | 61 | 1 | | ○ | ◆ | | ○ | ■民生常任委員会 地域整備課、地籍調査課、山村再生課、福祉課、農業委員会、病院事業に属すること。 |
| 藤田 浩祐 | 66 | 1 | | ○ | ◇ | 副 | ○ | |
| 宮本 行雄 | 69 | 1 | ○ | | ◇ | | 副 | ■議会広報広聴常任委員会 広報委員会: 広報に関すること。 広聴委員会: 広聴に関すること。 |
| 田中 賢 | 70 | 1 | | 副 | ◆ | | ○ | |
| 谷口 翔馬 | 27 | 2 | 正 | | ◆ | ○ | ○ | ■議会運営委員会 議会運営、会議規則、委員会に関する条例等に関すること。 |
| 波多 恵理子 | 60 | 2 | | ○ | 副◆ | | ○ | |
| 安道 泰治 | 62 | 2 | | 正 | ◆ | ○ | ○ | ■同和问题調査特別委員会 部落差別をはじめとする一切の差別解消に向け、その取り組み等の調査研究に関すること。 |
| 大河原 昭洋 | 56 | 3 | ○ | | ◆ | 正 | 正 | |
| 河村 仁志 | 60 | 3 | | ○ | ◇ | ○ | ○ | |
| 谷口 雅人 | 68 | 6 | ○ | | ◇ | | ○ | |

※ 正: 委員長 副: 副委員長 ○委員 ◇広報 ◆広聴 岡田光弘議員は議会選出の監査委員

※ 6名で担当していた広報常任委員会を議会改革の一端として全議員で運営する広報広聴常任委員会に改め、広報6名広聴6名での取り組みを始めました。

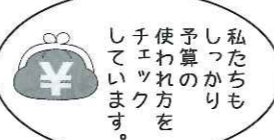
監査意見書

持続可能な財政運営を

代表監査委員
小林 新

監査委員
(議会選出)

岡田 光弘



私たちがしっかりと予算の使われ方をチェックしています。

主な意見

■一般会計

経常収支比率は94・3%で依然として高い水準にある。今後新たな行政需要が見込まれる中、徴税等の収入率の向上を図り、一般財源を確保し、財政の硬直化防止と弾力性確保に努められたい。限られた財源の効率的効果的な経費支出を図り、社会情勢の変化、町民ニーズを的確に捉えて持続可能な財政運営に努めること。

(※) 経常収支比率
財政構造の弾力性(余裕)を示す指標であり、経常的経費(毎年支払わなくてはならない

■特別会計

負担の公平性、事業の健全運営の観点から、収入率向上に向けた取り組みを一層強化する必要がある。

■水道事業会計

経営基盤の強化を図るため、「改正水道法」で求められている適切な資産管理の推進について重点的に取り組むこと。

■病院事業会計

今後「新智頭病院改革プラン」に沿って経営の効率化を進め、健全で持続可能な経営の下、地域の医療水準の向上と地域医療の充実を図ること。

議会の決算審議の手順

決算審査
特別委員会
9月10日(金)
主要事業審査

民生分科会
9月13日(月)
常任委員会の
所管部分
の審査

総務分科会
9月14日(火)
常任委員会の
所管部分
の審査

決算審査
特別委員会
9月15日(水)
総括審査

本会議で
【認定】

決算 収支

令和2年度 普通会計と特別会計を合わせた歳入決算合計は、105億233万円で、歳出決算合計は102億865億万円となりました。

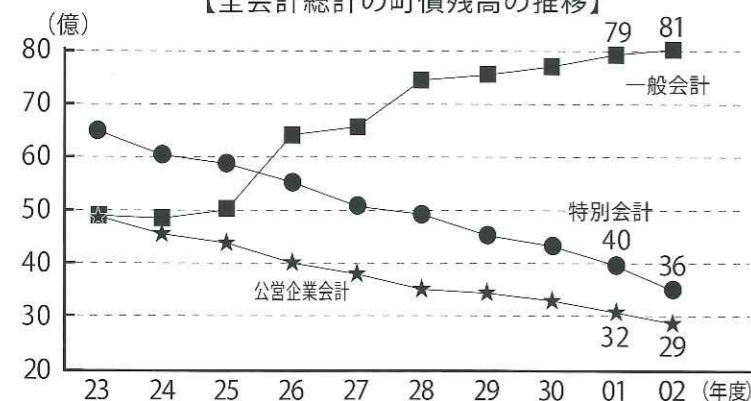
【総決算額の推移】



町債 (借金)

町債とは、町の借金のことです。一般会計、特別会計の合計に水道及び病院事業会計を含めた全会計の町債残高は、令和2年度末で147億7,978万円となり、前年度に比べ、1.5%減少しています。

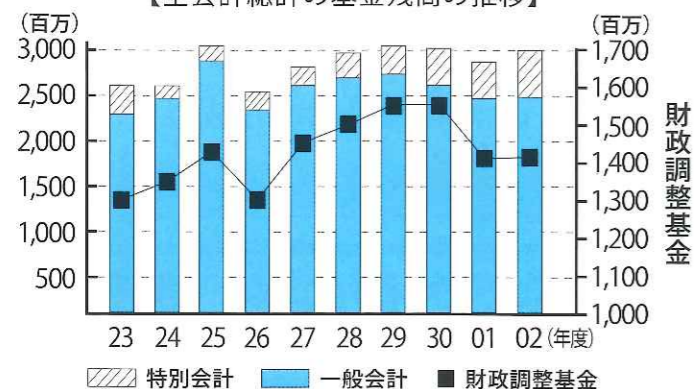
【全会計総計の町債残高の推移】



基金 (貯金)

基金とは、町の貯金のことです。一般会計、特別会計、財政調整基金を合計した基金残高は、令和2年5月末で30億4,200万円となり、前年度に比べ、3.2%増加しています。

【全会計総計の基金残高の推移】



※上記3つのグラフは令和2年度監査意見書より抜粋(グラフの数字は四捨五入しています)

決算特別委員会

智頭町まるごと民泊事業

内容：コロナ禍で利用が制限される中、お泊りなしの体験メニューを日帰りで実施。

- 議員**
 - ・高齢化が進んでいる民泊事業の今後の考えは。
 - ・メンタルヘルス、企業との連携は。

課長 幅広い視点から応募を募り一軒一軒声掛けを行っていく。鳥取銀行との連携を計り、新入社員研修を行っている。 ※精神面における健康のこと。

木の宿場プロジェクト事業

薪ボイラーの熱源供給
年間300t

内容：温水プール1日
平均利用者数は 87人
年間利用日数 269日

議員 バイオマス循環型社会を智頭町も目指しているのか。

課長 担い手の新規拡大はできていないが、裾野を広げたい。温水プールへの供給はできている。

病院事業会計

内容：医師、看護師の高齢化に伴い、人件費の増加が懸念されている。

議員 職員配置状況、職員が96名で6名が退職者と記載されているが現状は。

事務部長 退職者3名は育児休業、3名は病気療養で復帰に向けた療養をしている。

間伐支援は必要



智頭材出荷促進事業

決算額 4,638万円

石谷原木市場へ間伐材を出荷した際、1立米あたり1,200円を助成する。

完成しました!



ハザードマップ委託料

決算額 405万円

新たな浸水想定区域を反映し、日常的に見てもらえるマップに更新しました。

大雨・台風に備えましょう!

早め早めの行動が命を守ります。
○洪水ハザードマップは「計画規模降水(50年に1度の大雨)」を想定して作成しています。
○川がはん濫しない場合でも、低い土地などは床上床下浸水などが起こる場合があります。

9月 定例会

令和2年度 決算を認定!

第3回定例会が9月8日から17日まで10日間の会期で開会されました。令和2年度の決算については、特別委員会を設置、監査委員の審査意見書を参考に慎重に審査した結果、上程された12議案すべてを審査認定しました。
このほか、令和3年度補正予算や条例改正など8議案を、また、議会提出議案2件を審議し、原案どおり可決しました。
一般質問では9人の議員が町政をただしました。

(8〜13ページ)

指定管理料に頼らず "稼ぐ努力"を



石谷邸保存活用整備事業

決算額 3,457万円

コロナ禍で入館者数が大幅に減少しました。
○令和2年度 9,585人
(令和元年度 19,564人)

議会発議案

発議8号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

発議9号 智頭町議会基本条例の一部改正について(名称変更)

「智頭町過疎地域自立促進計画」 → 「智頭町過疎地域持続的発展計画」

「智頭町老人福祉計画・介護保険事業計画」 → 「智頭町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」



陳情の審査結果

| 件名(要約) | 提出者(要約) | 審査結果 |
|-------------------------------|------------------------|------|
| ① ほきの谷水害防止 | 毛谷集落自治会 会長 大河原 正 | 採 択 |
| ② 坂原集落内横断側溝設置 | 坂原部落 区長 平尾 順理 | 採 択 |
| ③ 塩田地内河川護岸の補修 | 塩田部落 世話人 山本 淳悟 | 採 択 |
| ④ 古屋地内砂防堰堤設置工事 | 口早野 世話人 寺坂 安雄 | 採 択 |
| ⑤ 宮塚谷川砂防ダム 建設現場から流出した土砂の撤去 | 河原町3丁目町内会 会長 宮本 芳昌 | 採 択 |
| ⑥ 国道53号線法面の安全性の確保 | 河原町3丁目町内会 会長 宮本 芳昌 | 採 択 |
| ⑦ 新型コロナ禍による米危機の改善 | 鳥取県農民運動連合会 代表者 今本 潔 | 趣旨採択 |

【趣旨採択】⑦の願意は理解できますが、国家間政治判断も含まれている内容の為。

陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください。
(土・日・祝日を除く)

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。



TEL: 75-3115

gikai@town.chizu.tottori.jp

陳情 受付

次回の定例会は12月8日から開催する予定です。



陳情箇所は、所管の委員会が現地を見て、陳情者から説明を聞き、判断しています。
陳情⑤の現地確認 (智頭 河原町3丁目宮塚谷川)

あの陳情、その後どうなった？

○惣地地区 カーブミラー設置要望について

(回答) 必要性は認められるが、特段の緊急性はなく令和4年度当初予算で対応を検討する。

条例の改正

●智頭町印鑑条例の一部改正について

マイナンバーカードを利用して市区町村が発行する証明書(住民票の写し、印鑑登録証明書)が全国のコンビニエンスストア等のキヨスク端末(マルチコピー機)で、令和3年10月11日から取得できるようになります。

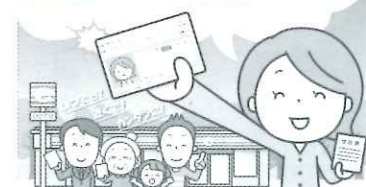
●智頭町手数料徴収条例の一部改正について

1. 個人番号カード(マイナンバーカード)の再交付手数料の既定の削除
2. コンビニ交付導入に伴う多機能端末機による手数料の新設

【一通あたり単価】

| | 窓口交付(改正前) | コンビニ交付(改正後) |
|-----------|---------------------------|-------------|
| 住民票の写し 抄本 | 300円 | 250円 |
| 住民票の写し 謄本 | 300円 (二人目以降一人につき+100円) | 250円 |
| 印鑑登録証明書 | 300円 | 250円 |
| 所得(課税)証明書 | 300円 | 250円 |

マイナンバーによる
証明書コンビニ交付サービス



●富沢コミュニティセンターにおける指定管理者の指定について

富沢地区振興協議会を指定管理者として指定しようとするものです。

指定の期間：令和5年3月31日まで

人事案件

| 件名 | 内容 |
|---------------|------------------------|
| 智頭町教育委員会委員の任命 | 安住 順一氏の任期満了に伴い再任に同意した。 |

空き校舎利用推進事業(旧那岐小学校)の 工事請負契約の締結について

議員採決の結果、賛成7名、反対4名、賛成多数で可決

賛成
討論

住民自治への応援は当然
この事業を実施することにより、アフターコロナの観光・経済に大きな効果が期待できる。さらに一番大事なのは、住民が旧小学校を拠点施設として地域を活性化させ、住民自治を高めていくことに対し、行政として応援していくことは当然の役割だと考えます。
安道 泰治

反対
討論

コロナ禍の今、集客は
コロナウイルス感染症感染拡大の状況で、県外はもとより県内の方々の利用が促進できるか宿泊利用者が確保できるか疑問です。
せめて、コロナウイルス感染症の終息宣言が国、県から出されるまで、工事開始の延期を検討していただきたい。
宮本 行雄

賛成 … 河村 仁志・大河原 昭洋・安道 泰治
谷口 翔馬・藤田 浩祐・岡田 光弘・西尾 寿樹

反対 … 波多 恵理子・田中 賢
宮本 行雄・仲井 莖

問 産業の振興、農林業、地場産業、商業、企業誘致、今後基幹産業の農林業では具体的にどのように取り組むのか。

答 町長 智頭農林高校を今後の移住定住、地域間交流の促進に、林業従事者を育成する場と期待する。現在、県教委が中心となり、町民・学校関係者、町、県関係者による魅力化推進チームで、将来ビジョンの作成を目ざしている。

答 町長 今までと少し変わった外部人材を積極的に活用、新たな視線の活動、知見を取り入れ持続可能な集落・地区になるように取り組む。

問 今後の移住定住、地域間交流の促進、人材育成などの対策は。また、智頭農林高校の連携を含めての人材育成など、どのように取り組むのか。

答 町長 農業は遊休農地対策の加速化として農業機械の導入など、林業は智頭材出荷促進・製材品利用、商品開発、作業道整備などの体制強化に取り組む。



河村 仁志

過疎地域持続的発展計画
 智頭町過疎地域持続的発展計画について取り組みを問う
 町長 / 新たな世代融合を生み出す循環型まちづくり推進事業をスタート



安道 泰治

介護保険
 介護保険給付の変更が必要
 町長 / 年明けの早い時期に行う

問 住宅改修と特定福祉用具の購入に対する給付は、本町では現在償還方式という形だが、取り扱い業者を登録制にして方式を変えていくべきと考えるがどうか。

答 町長 利用者にとって、一時的な費用負担が困難な場合も想定されることから、こういった体制が必要ではないかと検討していた最中でありました。所々の準備があるので、年明けのできるだけ早い時期に受領委任払いも取り扱えるよう行いたい。

問 福祉用具の購入についても利用者の負担や利便性を考えると受領委任払いに変更してはどうか。

その他、農地の草刈り作業の負担軽減について質問しました。



※1 利用者が全額を支払い後で役場が利用者により9割を返還する。
 ※2 利用者が最初から費用の1割だけ業者に支払う方式です。

9人の議員が一般質問に臨みました

次ページ



町政の課題を執行部に問う

| 議員名 / 質問内容 | 議員名 / 質問内容 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 河村仁志 1. 智頭町過疎地域持続的発展計画について | 宮本行雄 1. 現在の町の財政状況について |
| 安道泰治 1. 介護保険制度について 2. 農作業の負担軽減について | 西尾寿樹 1. 町内商工業の現状について 2. 病院経営について |
| 大河原昭洋 1. 新型コロナウイルス感染急拡大について 2. 激甚化する水害対策について | 谷口翔馬 1. 小中学校運営について 2. 多目的トイレ設置について |
| 岡田光弘 1. 第7次智頭町総合計画の成果と課題、今後の展望について 2. 新型コロナウイルス対策について 3. 遊休農地対策について | 藤田浩祐 1. 県立智頭農林高校の活性化と存続について |
| | 仲井 莖 1. 新型コロナウイルス感染の対策について 2. 子どもの学びの場について |

※一般質問とは、議員が町政全般について、疑問に思うことを、町長や教育長などに問い質すことです。

一般質問の録画をインターネットで見ることができます

■スマートフォンを使って検索

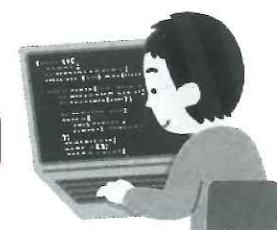
QRコード読み取り



■パソコンを使って検索

智頭町議会
録画放送

検索





大河原 昭洋

水害対策

防災インフラの強化対策は、緊急性の高いところから順次実施する

近年気候変動により全国各地で集中豪雨が頻発し、激甚化している。水害に対する危険性が高まる中、発生リスクを低減させるためにも河川堤防や砂防堰堤などのハード対策を今後どのように進めるのか。

町長 河川整備では町内各所で河床の土砂撤去、樹木の伐採をしている。治山、砂防工事は、県との意見交換を行いながら過去の災害実績や危険度などを総合的に判断し、緊急性や優先順位の高い箇所から順次実施を考えている。



7月に民家まで到達した流出土砂(大内2区)

ハザードマップを有効活用することが重要と考えるが、その具体的方策は。

町長 Web版も作成しており、任意の場所を任意の大きさと印刷できるようになっている。今まではなかった洪水浸水想定区域の情報などを考慮しながら、改めて支え愛マップづくりの作成や更新をお願いしたい。

町民の迅速かつ確実な避難行動につなげるために、本年3月に作成された防災

総合計画の将来像、「一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」を後期計画で具体的にどう実現していくのか。

町長 後期では町民意識調査などのアンケートも実施しながら、住民の満足度の向上を図り、将来像の達成に向けた取組をより推進していきたい。

アフターコロナを見据えた杉小判の追加発行など有効な経済対策を検討してみたい。

町長 昨年度の1次から3次にわたる杉小判の発行は、極めて高い利用率であった。追加の発行について



岡田 光弘

第7次総合計画

前期計画の課題と後期計画に向けての展望は、町長/前期計画を検証して後期計画につなげる

耕作放棄地に対する取組は、農家の高齢化の進展と相まってそこに住み続けられるかというような段階にきている。町としての具体的な対策は。



町長 まずは集落単位で自助・共助ということを考えていただき、最終的には町も関与しなければならぬと思う。



宮本 行雄

財政運営

経常収支比率、80%台を目ざすとあるが、具体的な方策は、町長/いろんな努力を重ねている

令和3年3月の町の第4次智頭町行財政改革プランの説明の中で、健全な財政運営の維持が本町の存続にとって極めて重要であることは言うまでもありません、と述べられています。健全な財政維持の具体的な方策は。

もやっついていることと考えている。

町長 経常収支比率の増加要因としては、監査委員報告でもあったように物件費、補助費等の高止まりが考えられる。昨年度から庁舎の電気供給契約を、こういったものも考え直し効果もある。いろんな努力を重ねているところ。経常的な物件費的なものを抑えるようにという努力はしてきたつもりですし、これから

町長 全ての公共施設について個別の計画を取りまとめられている。今後建替えが想定される施設は、役場庁舎と総合センターということになる。ただ、起債残高も増えております。向こう10年ぐらいは手をつけて、じっくりと力をつけて、財力をつけて、そういったものに当たりたいと思う。



西尾 寿樹

病院経営

訪問診療の拡充と経営健全化は、町長/病院の改革プランに沿って持続可能な経営を目ざす

この町でも人口減少は著しいと考えるが、智頭病院の経営には、大変工夫を要すると思う。町民の健康を一番に考えた上での、運営状況はいかがか。

町長 病院は、町民にとってなくてはならない施設である。厳しい経済状況の中、病院の改革プランに沿って経営の健全化に取り組んでいる。町民の医療の確保と健康のため、持続可能な病院として、経営安定を図っていく。

外来患者や検診患者を増やす観点からも、来られないなら、こちらから出向く訪問型の医療を、拡充してはどうか。

町長 まずは集落単位で自助・共助ということを考えていただき、最終的には町も関与しなければならぬと思う。

病院事業管理者 訪問診療の拡充とか、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問歯科などの在宅医療を充実させ、地域包括ケアシステムの推進を図っていく。

町長 病院は、町民にとってなくてはならない施設である。厳しい経済状況の中、病院の改革プランに沿って経営の健全化に取り組んでいる。町民の医療の確保と健康のため、持続可能な病院として、経営安定を図っていく。



外来患者の減少は、医師不足が、関係していると思うが、対策はいかがか。

病院事業管理者 医師確保については、鳥取大学医学部や県など、関係機関と連携を図り、喫緊の課題として認識している。



谷口 翔馬

多目的トイレ
総合グラウンドに多目的トイレをつくる考えは、教育長／利用状況に鑑み、公共施設のバリアフリー化を進める

問 町民の方から、総合グラウンドにスポーツ観戦に來られた高齢者の方が、多目的トイレがなくて困られたということが多数あるとお聞きしたが、本町として総合グラウンドに多目的トイレをつくる考えはないか。

答 教育長 少年野球に応援に來られていた方が多目的トイレがないので困られたということ、大変ご迷惑をおかけしていると反省をしております。今後も様々な方々の利用も想定しながら利用状況に鑑み、順次公共施設のバリアフリー化を進めてまいりたい。

（その他、小中学校の運営について質問した。）

問 現在全国的に学校内感染が懸念される中、本町でもいつなつてもおかしくない状況だが、小中学校で感染者が確認された場合、本町として学校ではどのような対応を考えているのか。

答 教育長 1人でも発生した場合は、学校を臨時休校とし、その後、保健所の指導のもと感染状況の把握に努め、その情報をもとに学級閉鎖、学年閉鎖、学校全体の臨時休校などの期間を定めることになる。現行では、児童生徒並びに学校関係者が濃厚接触者として指定され、PCR検査を受けた場合は、仮に陰性であっても2週間の出席停止、出校停止扱いとしている。



仲井 莖

子どもの学びの場について
不登校児の現状と対策は、教育長／個に応じた対応を進めている

問 普通教育機会確保法が成立したことによって、不登校の児童に対して、学校復帰という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目ざすようになりました。そこで、本町における不登校児の現状と対策を問う。

題材とした映画の記事が新聞に掲載されました。改めてサドベリースクールの位置づけと、このような事態に対しての対応を問う。

答 教育長 12月の議会の一般質問でも答弁しているが、学校復帰を前提とした認定フリースクール化に向けた活動となるよう修正を求めているが承認できる状況ではない。このたびの映画作成を受けて移住ニーズが増えるのではないかと懸念をしている。

問 サドベリースクールを

答 教育長 8月末現在で小学生5名、中学生5名の計10名であります。実態は個別多様化が進んでいるため、できる限りの把握をし、専門機関を交えた支援会議を設けて、要因分析と個に応じた対応を進めている。



藤田 浩祐

智頭農林高校
活性化と存続について、町長／魅力化推進チームで、将来ビジョン作成・支援を検討

問 県立智頭農林高等学校の活性化が、町に賑わいと活力を与え基幹産業への雇用・移住定住化の可能性を秘めると強く考えているが、思いと所見を問う。

答 町長 智頭農林高校が智頭という中で歴史ある高校である。存続条件の厳しいなか現在、県教委が中心となり、学校・町の関係者による魅力推進チームで将来ビジョンの作成を目ざしており、それを受けて、存続を目ざした支援を検討していきたい。

問 地域みらい留学高校進学というオンラインを活用した、全国70校が参加する合同学校説明会があり、県



内では日野高校・倉吉農業高校・青谷高校が参加し、個々に生徒数が増加して実績を出している。このような効果的なものを智頭農林高校に推奨し協働するのはどうか。

答 町長 そういう考え方もあると思う。生徒数と宿舍の関係性の問題もある。どこかの段階で、問題解決すべきシステム作りと将来ビジョンを作成して、町としては何が出来るのか、考えながら支援を検討していきたい。

同和問題特別委員会

報告者：大河原昭洋委員長
副委員長：宮本 委員：全議員

オンライン研修で学ぶ 『部落解放・人権西日本夏期講座』

- 研修日 令和3年 6月17日・18日
- 場所 智頭町総合センター・久志谷地区集会所
- 参加者 全議員
- 概要 第46回の同講座は新型コロナウイルスの影響により、オンラインで開催されました。6部ある講座の中から委員それぞれが選択し、受講した一部を報告します。

コロナ禍における同調圧力
多くの日本人は「世間に迷惑をかけるな」と育てられ世間に波風を立てることは悪だと刷り込まれている。よってコロナ禍で「自粛警察」や「感染者バッシング」が起きたのは、この国特有の「世間」の同調圧力が原因である。このことがコロナ対策ではプラスに働いた

ヒロシマの調べ 被爆ピアノ平和コンサート
被爆ピアノとは広島、長崎で原爆投下時に被害を受けたピアノのことである。矢川光則氏は被爆ピアノを乗せたトラックを自らが運転し、年間150回以上のコンサートをこなしている。「平和な世の中を次の世代に引き継ぐことが自分たちの使命だ」という言葉が特に印象的だった。

議会広報広聴常任委員会の報告

8月19日
月例委員会
所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 新型コロナウイルスは感染力が強く、本町は感染者数を発表しないのか。

A 感染者の発表についての基準は、小中学校はガイドラインに沿っている。保健所からの情報しか入ってこない。県の発表が事実。

Q 本町のふるさと納税、目標金額はあるのか。

A ふるさと納税500万円を目標にしている。

Q 秋に山郷・山形地区で公共交通の実証実験を行うに当たり、新しい告知端末を個人宅に入れ替え作業を行うのか。

A その通りで、山郷・山形地区を先行して入れ替えを行う。

Q 告知端末を利用している物支援の詳細は。

A 現在移動販売をされている業者と連携して行うように考えている。これから商店の方と協議が必要だが、チラシを出すことも可能である。



Q 住民票のコンビニ交付手数料が市町村によって違うが設定の内訳は。

A コンビニ交付の用紙は、普通の紙であり、役場の窓口で発行している用紙は改ざん防止のつもりで、自分が操作して発行されるので、250円の設定とした。

議会だより155号に関する議会広報モニターからのご意見を紹介

全体の構成(見やすさ・記事量)は、『よい』が15名、『普通』3名、『悪い』1名でした。

編集改善に関する意見

- 表紙について
・若い人にも議会に目を向けてほしい。表紙も検討してほしい。
- ・写真の出所も載せてもらえたらいい。

智頭図書館・公民館などで、活動内容に合う写真を探し掲載しています。

感想

文字の大きさ、間隔などのバランスが良く読みやすいと思った。

わかりにくい言葉など説明が必要な内容に関する意見

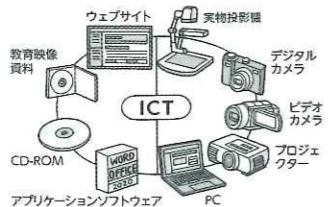
● 「電子地域通貨」とは。

電子通貨「まちのコイン(てご)」まちのコイン(てご)とは、コミュニ



「ICT」とは。

ICT(パソコン・OA機器等の総称)の技術を有効活用することによって情報を伝達しているのがICT技術です。



ティ通貨(電子地域通貨)サービスのことをいう。これまで以上に地域コミュニティを活性化し、高齢者と若者移住者の間での互助活動をスムーズにするという思いを込めて、「まちのコイン」の通貨名を「お手伝い」を表す方言の「てご」にしました。

町政や議会活動全般に関する意見

● 山村ICT化プロジェクトの「データ記録」は、林業事業者以外にも公開されるのか。

検討中の事業であることと、現段階では林業事業者の安全対策等を目標としているため非公開です。

民生常任委員会の報告

8月19日
月例委員会
所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 地籍調査の現地立会の現状はどうか。

A 県外の方は、コロナ禍の状況もあり推進委員さんに委任状を出されている。地元、若い方の立ち会いもしてもらっている。

Q 7月8日の大雨被害状況について44件の報告があったが、改善は。

A 町が関連すべきは7月の専決、9月の補正で対応。県国へつながるものは報告している。活用できる事業等をお知らせしている。

Q 小型除雪機の更新時期に入っているとと思うが、耐用年数も含めての把握は。

A 起債の償還期間12年をワンスパンと考えている。古く貸与の集落、新規が

A 優先。状況は把握している。

Q 委託事業がコロナで自粛、ミニデイの会食はなし、子ども食堂も休業。子ども食堂の持ち帰り弁当等考えてはどうか。

A 弁当も検討したが、高温多湿の時期には無理。ミニデイは黙食は難しいので会食はしないが、体操、ゲーム等だけ行う所もある。



Q 地元で林業を生業としておりの方に山林バンクの情報を提供出来ないのか。活用森林面積の実績が0になっている。

A 今年度から見直しを行う。情報が必要であれば提供していく。

● 循環型まちづくりの推進事業がよくわからない。

地域再生計画の名称である。

人口減少が加速する中、持続可能なまちづくりのために、町内外の多世代での繋がりを強化し、世代交代ではなく、

- ① 外部人材の活用
- ② 自分ゴト化
- ③ 電子地域通貨(町のコイン)を活用し、三つの世代融合を旨とする事業。

● 感想 コロナウイルスや過疎化で打撃を受けていながらも、智頭のまちづくりに対する体制は、非常に活発で良いと思つた。

● 感想 災害が多くなってきている為、ハザードマップを家族や地域の人と確認する事はとても大切であり、安心に繋がると思う。



ハザードマップを家族で見ながら、家の位置を確認し、なるべく安全な避難経路を考える。

ちづちよう み いじゅう
智頭町に魅せられ、ドイツから移住

シモン・カウダーさん(山郷地区)



「智頭町で長期的に暮らしてみないか」と提案したとき、妻は心底驚いていました。それでも3ヶ月の「移住お試し期間」を経て、ドイツから越してきて半年、直感を信じてよかった、と思っています。

有難いことに林業家の橋本登志郎さんに就労の機会を頂き、4月から林業に従事。防護服にヘルメット、急斜面での作業は体に応えませんが、学ぶことが多く、異国で汗を流して働けることに喜びを感じています。なにより智頭の森はとても美しい。植生が豊かなのはもちろん、俯瞰したときに杉の木々が1本ずつくつきりに見える、山々が濃淡をつけたように連なる景色は何度見ても見惚れます。また、杉木立のなかを蝶が無数に飛び回る景色を見たときには天国かと息を呑みました。嬉しい副産物もあります。

ビールで造られていた体は引き締まり、体が軽くなりました。こちらに来てから食生活が変わったのも一因です。義理兄家族が丹精込めて育てた米、町民の方々からお裾分けで頂く旬の野菜や果物、町内産のお茶。それに加え、海のものも山のものも新鮮で美味しい。妻は観光協会での仕事の合間に家庭菜園を楽しみ、梅干などの保存食づくりに挑戦。和食のおかげで10年は寿命が長くなったのではと感じる日々です。

子どもたちは新田集落を鼻歌まじりに歩き回り、豪快に水遊びをし、カエルやアカハライモリ等を躊躇なく捕まえ、道端の実を頬張るほどになり、里山の豊かな自然を全身で満喫しています。ドイツで自由奔放に育った長女は保育園へ通いはじめたことで、団体行動や共有すること、順番を待

つこと等を学んでいる様子。妻曰く、流暢な智頭弁を話すようになったとのこと。このままではまずい、と自身身の語学学習の刺激にもなっています。

智頭町に越してきてから、人の輪が繋がっていくのを肌で感じていきます。温かく迎え入れてもらったことに感謝しながら、小さなところから地域に恩返しが出来ればと考えています。



シモン・カウダーさんご家族

編集後記

新しい議会、新しい広報広聴常任委員会となり、全議員で取り組み、編集にあたりました。次回の議会だよりは、より一層、町民の皆様のご意見を反映して、見やすく分りやすい広報誌にしたいと思っています。

そしてコロナウイルス感染症が猛威を奮う中、変異株がどんどん増えています。智頭町のワクチン接種率は、県内トップクラスですが、若い方の接種がもう少し進んでいないようです。子どものため、家族のため、お友達のためにも、ワクチン接種が進むことを望みます。(西尾)

編集 広報広聴常任委員会

- 委員長 西尾 寿樹
- 副委員長 波多恵理子
- 委員 仲井 莖
- 委員 藤田 浩祐
- 委員 宮本 行雄
- 委員 河村 仁志
- 委員長 谷口 雅人